

2026年3月31日
株式会社 阿波銀行

(一社)四国ツーリズム創造機構、四国経済連合会との共同による
「四国の観光ビジョン」の改定について

阿波銀行（頭取 福永丈久）、百十四銀行（頭取 森匡史）、伊予銀行（頭取 三好賢治）および四国銀行（頭取 小林達司）は、一般社団法人四国ツーリズム創造機構および四国経済連合会と共同して、2021年に策定した「四国の観光ビジョン」を、このたび改定しましたので、お知らせいたします。

本改定は、さらなる「四国～Shikoku～」ブランドの認知度向上を図るとともに、地域住民・観光客・地域経済のすべてが潤う「三方よし（住んでよし、訪れてよし、商いもよし）」の実現を加速させるものです。

今後5年間、3団体は本ビジョンに基づき、(一社)四国ツーリズム創造機構を推進の「要（かなめ）」として、各県・各エリア・観光関連事業者との連携をこれまで以上に深化させてまいります。

なお、詳細につきましては別紙「四国の観光ビジョン～『四国～Shikoku～』ブランドの認知度向上～（2026年度～2030年度）」をご覧ください。

【記者発表の様子】



左側：四国経済連合会 会長 長井啓介
中央：(一社)四国ツーリズム創造機構 代表理事 半井真司
右側：四国アライアンス代表 四国銀行 頭取 小林達司

以上